

WOOD AGE

Woody age



10 2013

OCT No.62 722

ウッディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



「木の家つくりから考える地域の自立」

一般社団法人 北海道林産技術普及協会

ウッディ エイジ

木材の研究と普及
第62巻・通巻722号

目 次

「木の家つくりから考える地域の自立」	1A
十勝産カラマツ材を使用した畜舎の建築事例～浦幌町の取組～	4A
<hr/>	
シイタケ廃菌床からブドウ糖を生成する(2)	
～蒸煮処理による酵素糖化率の向上～	1
“良好な景観の形成に資する”北海道型木製ガードレール	4
道産針葉樹を用いた圧縮木材の製品化に向けて	
～平成24年度 職員研究奨励事業の成果より～	6
Q&A先月の技術相談から	
〔林地残材のエネルギー利用〕	9
行政の窓	
〔「北海道森づくりフェスタ2013」木育関連イベント〕	10
林産試ニュース	11



木造堆肥舎 遠軽町

木製堆肥舎は、堆肥から発生するアンモニア、硫化水素などによる腐食に強く、増改築・補修が容易、サビの心配がない、環境への負荷が少ないなどの優れた特徴を持っています。

表紙の写真は、遠軽町近郊に建設された木造堆肥舎の屋根組のクローズアップです。カラマツ材を用いた複雑なトラス構造を、釘打ち合板がセット接合で組み上げている様子が分かります。